

国立公文書館	
分類	警察庁
架	9
排架番号	4E
	15-2
	233

以暗簿ハ二種トシ一ハ簿字式一ハ録書式トシ外
 事理別室ニ於テ修製ノ予定ナラズト
 其右ノ為各簿ニ於テハ其ノ簿ニ於ケル暗簿ヲ
 必要トスル慣用簿ヲ摘記シ五月十号迄ニ
 外事理ハ提出スル工ト（今後以テ内位ニ修製
 完了ノ予定ニテ修製ニ付テハ各簿ヲ一各家庭ノ修
 繕ヲ本ムルヤモ知ラス）
 大参考
 以テ暗簿修製使用ニ付テハ局ニ電任係（暗簿付向）ヲ設
 ケ此係ニ於テ取扱ハレムル予定
 以テ現在使用中ノ各種暗簿ハ通信信塔上ノ問題ナルヲ以テ
 引渡キ使用スルモ支障ナキト
 以テ但シ暗簿ト暗簿ヲ同一支掌ト為スル不可ナリト
 思料ス
 以上

（折上リ國定規格B5一八二×二五七種）

丙

昭和十九年九月十五日

案起 昭和十九年九月六日

警保局長 警務課長 主任

警保局長

警務課長

警務官

合 議 局 號 及 受 送 月								主 管 局 號 及 付 送 日							
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送
受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

案 年 月 日 警保局長

内務部 警保課 沖繩縣知事宛

警察官、疎開家族ニ對スル臨時生活費補助ニ關スル件

貳貳

貳貳

第	第
號	號
送	送
受	受
月	月
日	日

昭和十九年七月二十六日警親第九一號ヲ以テ

申請ニ係ル標記ノ件ハ事業ノ性質上發

察共済組合附屬事業トシテ經營スルハ適當

ナラズ且ツ目下ノ處組合財政上ニ於テ至難

ノ狀況ニアリテ詮議相成難ク候條中實縣

相成度候
御了知
依リ措置相

丙

施行

案起 昭和十九年八月二十八日

主任



警保局長

Handwritten signature of the Chief

警務課長

事務官

事務官

發給察官、疎開家族ニ對シ臨時
生活費補助ノ件

冲繩縣ハ戦局ノ進展ニ伴ヒ非常事態

發生ノ場合挺身治安ノ重責ニ任ル警察

月送受及號局議合									日月付受及號局管主								
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送	送
受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

第 號 送 受
月 月 日 日
第 號 送 受
月 月 日 日

官對に家族の疎隔を、後顧の憂に、
職を其の完遂せる為、家族の引揚に、實能中
に、二重生活の余議ナラレ、家計上困難ナ
ルヲ以テ、
貯蓄共済組合臨時附属事業
ヲ施設シ、家族の臨時生活補助トシテ、月俸
ノ八割以上、金額ヲ毎月交付致度ニ付キ
補助ヲ受ケムト謂フ、アリ。

(國定規格紙ハニ×三五七紙)

大日本帝國政府

意見

本件ノ事業、性質上貯蓄共済組合附属事
業トシテ、
適當ナラズ、
貯蓄員負担甚シ、他
ノ方法ニ依リ措置スヤキト認メ、
以テ不認
可ト知ス、
致度一應仰裁

警備第九一號

昭和十九年七月二十六日

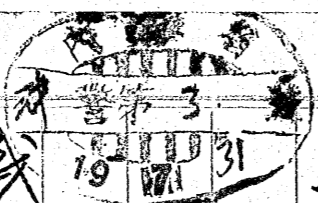
沖繩縣知事 泉 守紀

内務次官 山崎 巖殿

警察官ノ疎開家族ニ對スル臨時生活費補助ニ関スル件 申請

戦局ノ苛烈化ニ伴ヒ本縣ノ地理的ニ作戰地帯化シ、軍ニ於テハ夫ノ兵力ヲ増強スルト共ニ防備施設ノ構築ヲ急キ作戰ノ目的達成ニ邁進シテ、アル實状ニアリ

而シテ本縣ノ鹿兒島ヲ距ル西南二百六十哩ニ散在



スル大小六十餘ノ島嶼ヨリ成リ縣内向及他府縣ト
 ノ交通連絡ハ極メテ不便ニシテ且ツ主要食糧ノ三
 分の二ハ台湾及他縣ヨリノ移入ニ依リ需要ヲ充シ居
 ルモ戦局ノ進展過程ニ於テハ交通杜絶リ勿論戦場化
 スル場合モ豫想ニ難カラス。斯カル事態ニ際會シ六十万
 縣民ノ食糧供給ノ問題ハ最モ重要ナル事案トシテ
 登場スベキハ必定ナルニ依リ當地軍需局ニ於テモ深
 ク之ノ点ヲ憂慮セリ防空防衛上在留ヲ要セサル人
 員ノ縣外轉出方ヲ要請シ来リタルヲ以テ協議ノ結果
 國防上軍ノ手足纏トナル老幼婦女子等約十萬人
 ヲ別紙轉出要綱ニ依リ他府縣及台湾ニ轉出セシムル
 々勸奨指導シ既ニ引揚開始中ナリ
 非常事態發生ノ場合挺身治安ノ重責ニ任スル警察

官ニ對シ其ノ家族ヲ他府縣ニ轉出セシメ以テ突戦下ニ
 於テ後顧ノ憂ナク皇國警察官トシテノ職責ヲ完シ致
 サスハク其ノ爲ニハ警察官吏ノ家族ヲ他府縣又ハ台湾ニ
 纏メテ引揚ケシメ度キ意嚮ナルモ纏テ警察官ノ給
 與状況ハ別紙ノ通最高百三十八円最低五十五円ノ月收
 ニシテ雜費ヲ差引スレリ日々ノ生活ハ辛クシテ之ヲ支フル
 程度ニシテ家族ノ轉出ニ依リ二重生活ヲ爲スニ於テハ令
 宿生活ヲ爲サシムルモノトシテ最少限度

警察官一人ノ生活費

下宿料	二十五円
洗濯料	二円五十銭
其ノ他雜費	十二円五十銭
計	四十円

之要に現在、月収ヨリ轉出家族ノ生活費之仕送スルハ
 極人ノ困難ナシニ実状ニアリ、彼此特殊事情御諒察
 ノ上警察共済組合臨時附屬事業之施設ニ轉出
 家族ノ臨時生活補助トシ月俸ノ八割以上ノ金額毎月
 交付シ以テ救済相成様御配意相成度此段及申
 請候也

追而御認可ノ際、別紙斗画案ニ依リ実施致
 度申添候也

警部警部補巡査給典調（六月三十日現在）

官職	警部	警部補	巡査	警部	警部補	巡査	警部	警部補	巡査	官職
人負	一五	三五		一五	三五		一五	三五		人負
區別	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	區別
現給	八五	七三	五八	八〇	七三	五八	八五	七三	五八	現給
加俸	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	加俸
舎料	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	舎料
家族	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	家族
臨時	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	臨時
勤	八五	七五	六五	八五	七五	六五	八五	七五	六五	勤
被服料	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	被服料
計	一三八五〇	八一五〇	一〇二〇〇	一三九五〇	一〇二〇〇	一〇二〇〇	一三九五〇	八一五〇	一〇二〇〇	計

差引額

義務貯金

一月

國民貯金

一月

共済組金

月俸百分之二

警察協會費

月俸百分之一

軍事情報費

月俸百分之一

恩給納金

月俸百分之一

臨時附屬施設之依り組合員家族

生活費補助之関之り計画案

一、事業期間

一ヶ年位ノ見込

二、通用範圍

縣外轉出実施要領之依り昭和十九年七月以降

縣外之轉出セシメタル警察官(組合員)ノ家族之

ニテ組合員が扶養スル妻及十五才未満六十才以

上並不具病弱ノ者下ニ組合員之通用ス

三、給典金額

組合員ノ月俸及家族數ノ勘案シ別紙補助率

ノ額ヲ組合員毎ノ家族生活補助金トシテ給典ス

ルモノトス

四、請求給典方法

本補助金の組合員より請求せしむる之の對所
屬長ノ証明之依リ給與之領收証ヲ徴スルモノ
トス

警視以下組合員家族引揚見込者調

月俸	月俸							補助率
	四十円以下	五十円以上 五十円以下	五十円以上 六十円以下	六十円以上 七十円以下	七十円以上 八十円以下	八十円以上 九十円以下	九十円以上	
以上		一	一	一	一	一	一	補助率
四十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
五十円以上 五十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
五十円以上 六十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
六十円以上 七十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
七十円以上 八十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
八十円以上 九十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
九十円以上		一	一	一	一	一	一	補助率
以上		一	一	一	一	一	一	補助率
四十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
五十円以上 五十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
五十円以上 六十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
六十円以上 七十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
七十円以上 八十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
八十円以上 九十円以下		一	一	一	一	一	一	補助率
九十円以上		一	一	一	一	一	一	補助率
以上		一	一	一	一	一	一	補助率

縣外轉出実施要綱

第一方針

皇土防衛確立ノ大局的見地ヨリ縣内ニ在住
スル老幼病者婦女ニシテ他府縣又ハ台湾
ニ轉住ヲ希望スル者ヲ早急ニ轉出セシメ
以テ防空防衛態勢ヲ強化セムトス

第二要領

一 実施区域

沖繩本島 宮古島 石垣島 西表島

ニ限定ス

二 轉出ヲ認ムル範圍

六十年以上十五年未満ノ者 婦女 痲

者トス

婦女ノ轉出ハ老幼者ノ世話ヲ為ス必要
アル者及軍其ノ他ニ於テ在住ノ必要
ナシト認ムルモノ

三 轉出期日

概テ七月中ニ於テ実施スルモノトス

四 轉出ノ手續

(一) 轉出ノ希望ハ別紙様式ニ依リ轉出
申告書ニ通所轄警署署長ニ
提出シテ証明ヲ受クルモノトス

但シ一通ハ証明シテ本人ニ交付スルコト

(二) 証明ヲ其ハタル者ニ対シテハ旅行証明書
及乘船証明書ヲ與フルモノトス

(三) 轉出者ノ乘船ニ付テハ縣ノ指示ニ依ル

縣ハ警署署長ヲ通シテ本人ニ通告ス

(四) 宮古、石垣、西表島ニ於ケル轉出者ハ

一應、那覇ニ集合セシム

那覇ニ至ル迄ノ便船ハ所轄警署署長又ハ
町村ニ於テ取計フコト

五 轉出先

(一) 轉出先ハ轉出者ノ縁故先トス

(二) 縁故ナクシテ轉出スル者ハ受入側ニ

於テ就職等ノ斡旋ヲ為スモノトス

但シ別紙地域ニハ居住スルコトヲ得ザ
ルニ付取扱上注意スルコト

第三措置

(一) 本要綱実施ニ就テハ軍其他関係

ト密接ナル連絡ノ下ニ之ヲ為スコト

(一)本省及各府縣長官宛度ハ方依頼ス

(二)本要領実施促進ノタメ縣廳内ニ関

係課長ヲ以テ実施委員會日シ組織ス

第四轉出ニ就テノ注意

(一)轉出者ノ荷物ハ生活上ノ必需物品ニ限定

シ荷物ハ轉出者一人ニ付二個以内トス

但シ荷物ノ大キサハ柳行季子ノ大キサトス

(二)轉出ニ関シ向合セハ警務部署係員ニ為

スコト

別紙

一 京浜地域

東京 横浜 川崎

阪神地域

大阪 神戸 尼崎

名古屋地域

名古屋

北九州地域

門司、小倉、戸畑、若松、八幡

二 東京都

立川市

埼玉縣

川口市

神奈川縣

横須賀市

大阪府

堺市 布施市

兵庫縣

西宮市 御影市

京都府

京都市 舞鶴市

廣島縣

呉市

山口縣

下関市

長崎縣 佐世保市

様式

乘船証明書

住所

氏名等

事由

乘船間

轉出、夕、

自那霸港

至 港

右證明又

警務署長 印

様式

轉出申告書

本籍

住所

吾帶主

氏

名

印

私儀今般尤記、通轉出致度候糸此段
及申告候也

昭和 年 月 日

警務署長殿

記

一 轉出先

縣

市郡

二 轉出豫定年月日

昭和 年 月 日

三 家族員

名

氏名 性別 妻帯主 續柄 生年月日 数年 備考

右ハ轉出支障無之事ヲ証明ス

昭和 年 月 日

警察署長 印

警保局警務被乙第五四二號
昭和十九年九月十五日

内務省 警保局長



沖縄縣知事殿

警察官ノ疎開家族ニ對スル臨時生活費補助ニ關スル件

昭和十九年七月二十六日警親第九一號ヲ以テ申請ニ係ル標記ノ件
ハ事業ノ性質上警察共済組合附屬事業トシ經營スルハ適當ナラズ
且ツ目下ノ處組合財政上ニ於テモ至難ノ狀況ニアリテ詮議相成難
ク候憐御了知相成度候

内務省